認 定 書

国住指第 1235 号
平成 19 年 8 月 8 日

クリオン株式会社

代表取締役社長　松平 孝治　様

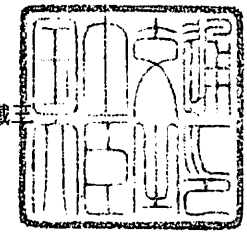
旭化成建材株式会社

代表取締役社長　小林 宏史　様

住友金属鉱山シポレックス株式会社

代表取締役社長　伊藤 敬　様

国土交通大臣　冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各 30 分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-0887

2. 認定をした構造方法等の名称

仕上塗材塗ALCパネル張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

別添

1．構造名

仕上塗材塗ＡＬＣパネル張／木製軸組造外壁

2．寸　法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

3．材料構成等

項　　目		製　品　仕　様　等
屋外側被覆材（ＡＬＣパネルの表面に仕上塗材を施したもの。）	ＡＬＣパネル	規格 JIS A 5416（軽量気泡コンクリートパネル）の薄形パネル 形状 平板 表面の形状 ①平滑、②平滑・溝加工、③凹凸加工、④凹凸・溝加工 厚さ（㎜） 35･37･50±2 かさ比重 0.45 を超え 0.55 未満（補強材を含まず） 幅（㎜） 最小：600、最大：610 長さ（㎜） 最小：1,500、最大：3,000 補強材 種類 メタルラス（JIS A 5505）、鉄線（JIS G 3532）、溶接金網（JIS G 3551） 質量（kg/㎡） 0.7 以上
	仕上塗材	規格 JIS A 6909（建築用仕上塗材） 種類 薄付け仕上塗材： 外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材： 外装セメント系厚付け仕上塗材、外装けい酸質系厚付け仕上塗材、外装合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材 複層仕上塗材： ポリマーセメント系複層仕上塗材、けい酸質系複層仕上塗材、合成樹脂エマルション系複層仕上塗材、防水形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材、防水形合成樹脂溶液系複層仕上塗材 塗布量（所要量）（kg/㎡） 1.5 以上（合計） 有機質含有率（%） 47 以下（仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合）
屋外側被覆の副構成材料	通気胴縁	種類 JAS に規定する針葉樹の造作用製材または下地用製材 寸法（㎜） 厚さ 12 以上、幅 30 以上 取付け間隔（㎜） 500 以下

項　　目		製　品　仕　様　等
屋外側被覆の副構成材料	横胴縁（ＡＬＣパネルを縦張りとする場合に使用する。）	種類 　JAS に規定する針葉樹の造作用製材または下地用製材 寸法（㎜） 　厚さ 12 以上、幅 30 以上 取付け間隔（㎜） 　500 以下
	透湿防水シート	種類 　ポリエチレン系、ポリエステル系 質量（g/㎡） 　78 以下
	ねじ、くぎ	ＡＬＣパネル留め付け用 　φ4.8 ㎜以上×L60 ㎜以上の鋼製またはステンレス鋼製木ねじ 通気胴縁留め付け用 　φ2.75 ㎜以上×L50 ㎜以上の鉄丸くぎ 横胴縁留め付け用 　φ2.75 ㎜以上×L65 ㎜以上の鉄丸くぎ
	透湿防水シート留め付け用ステープル	寸法（㎜） 　幅 12 以上、長さ 10 以上
	シーリング材	種類 　アクリル樹脂系、ポリウレタン系、変成シリコーン系 充填量 　50g/m以上
	ＡＬＣパネル留め付け用ねじの補修材	種類 　合成樹脂エマルション系パテ、セメント系補修材 充填量 　0.1g 以上／凹み深さ 1 ㎜当り
下地材	柱	種類 　JAS に規定する構造用集成材または針葉樹の構造用製材 断面寸法（㎜） 　105 以上×105 以上 取付け間隔（㎜） 　500 以下（柱と間柱との間隔）
	間柱	種類 　JAS に規定する針葉樹の造作用製材または下地用製材 断面寸法（㎜） 　30 以上×105 以上 取付け間隔（㎜） 　500 以下

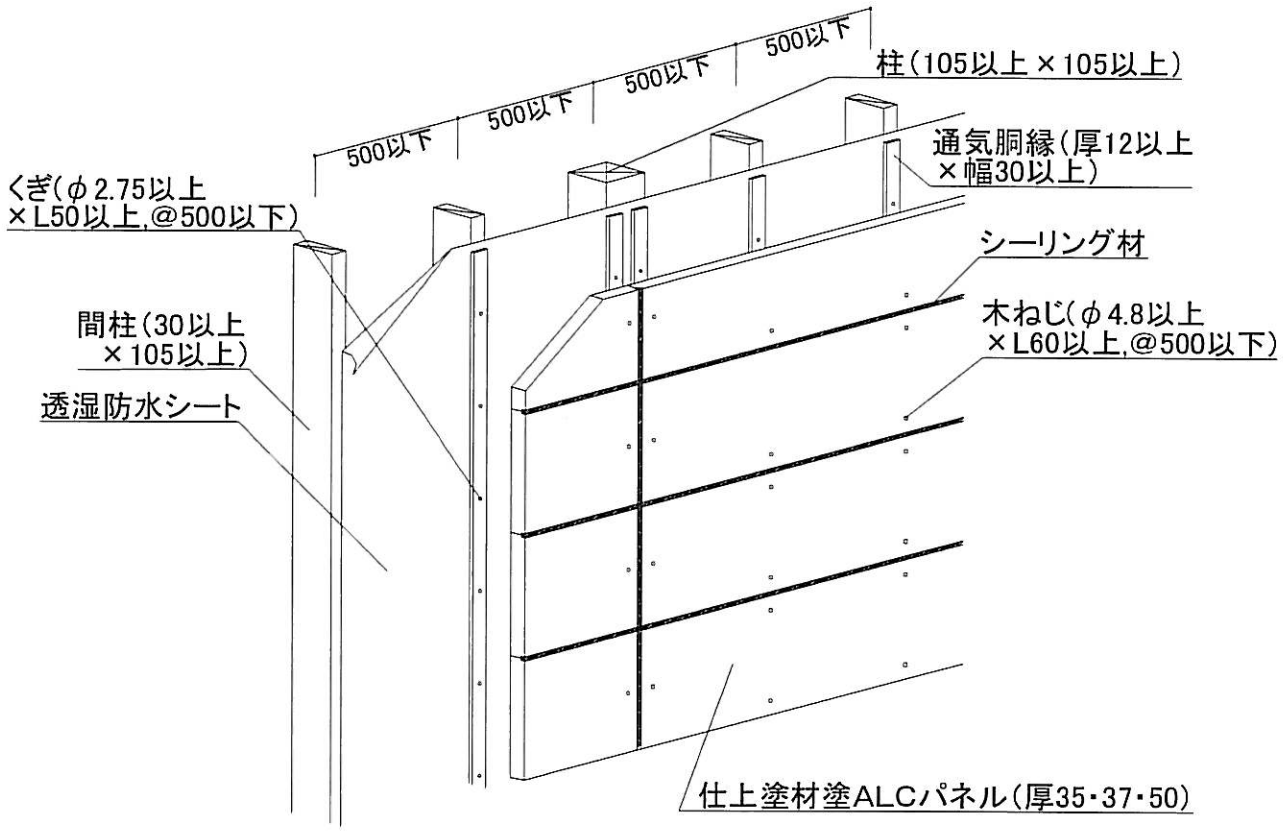
項　　目		製　品　仕　様　等
施工方法	下地組み	土台に柱と間柱を取付ける。この時の柱と間柱との間隔及び間柱相互の間隔は 500 ㎜以下とする。
	透湿防水シート	ステープル (幅 12 ㎜以上、長さ 10 ㎜以上) を用い、柱または間柱に仮止めする。
	通気胴縁	通気胴縁を柱または間柱の直上に 500 ㎜以下の間隔で配置する。ただし、ＡＬＣパネルを横張りとする場合のＡＬＣパネルの短辺方向の目地部には、必ず通気胴縁を 2 本配置する。通気胴縁は、柱または間柱にφ2.75 ㎜以上×L50 ㎜以上の鉄丸くぎを用いて 500 ㎜以下の間隔で留め付ける。
	横胴縁	ＡＬＣパネルを縦張りとする場合は、横胴縁を柱または間柱と直交する方向に 500 ㎜以下の間隔で配置する。ただし、ＡＬＣパネルの短辺方向の目地部には、必ず横胴縁を 2 本配置する。横胴縁は、柱または間柱にφ2.75 ㎜以上×L65 ㎜以上の鉄丸くぎを用いて 500 ㎜以下の間隔で留め付ける。
	ＡＬＣパネル	横張り仕様のＡＬＣパネルは、φ4.8 ㎜以上×L60 ㎜以上の鋼製木ねじ等を用いて柱または間柱に留め付ける。縦張り仕様のＡＬＣパネルは、上記の鋼製木ねじ等を用いて横胴縁に留め付ける。ＡＬＣパネルの長辺方向周辺部の留め付け間隔は 500 ㎜以下とし、短辺方向周辺部は上記鋼製木ねじ等 1 本以上で留め付ける。鋼製木ねじ等は、その頭部がＡＬＣパネル表面より 7～10 ㎜凹むようにねじ込み、この凹部には、合成樹脂エマルション系パテ等を隙間なく充填する。ＡＬＣパネル相互の目地部にはシーリング材を充填する。
	ＡＬＣパネルの表面仕上げ	仕上塗材の塗布量 (所要量) は、合計で 1.5kg/㎡以上とし、仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合は、47％以下となるようにする。

4．構造説明図

(1) 横張り仕様

(1)-1 透視図

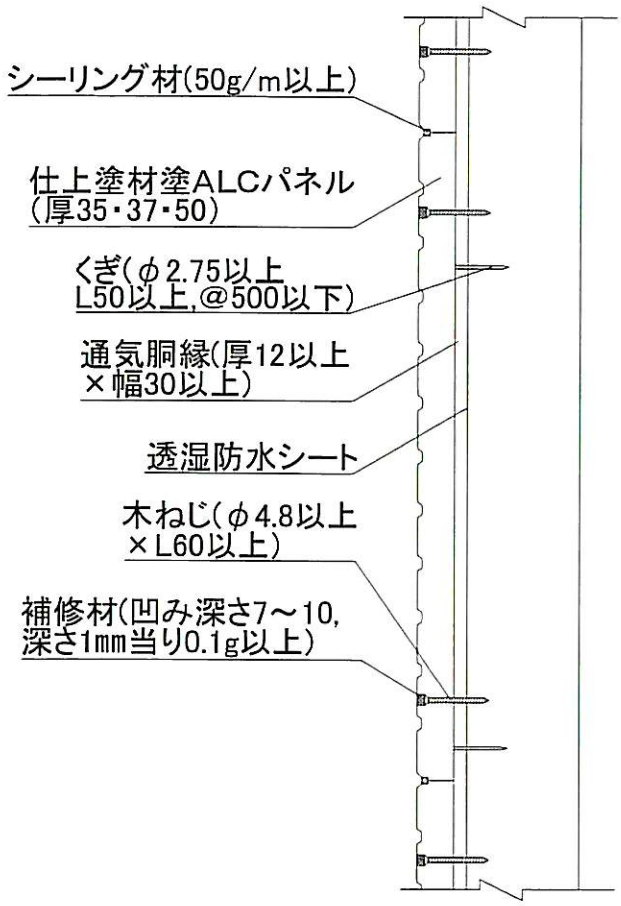
単位(mm)



(1)-2 断面詳細図

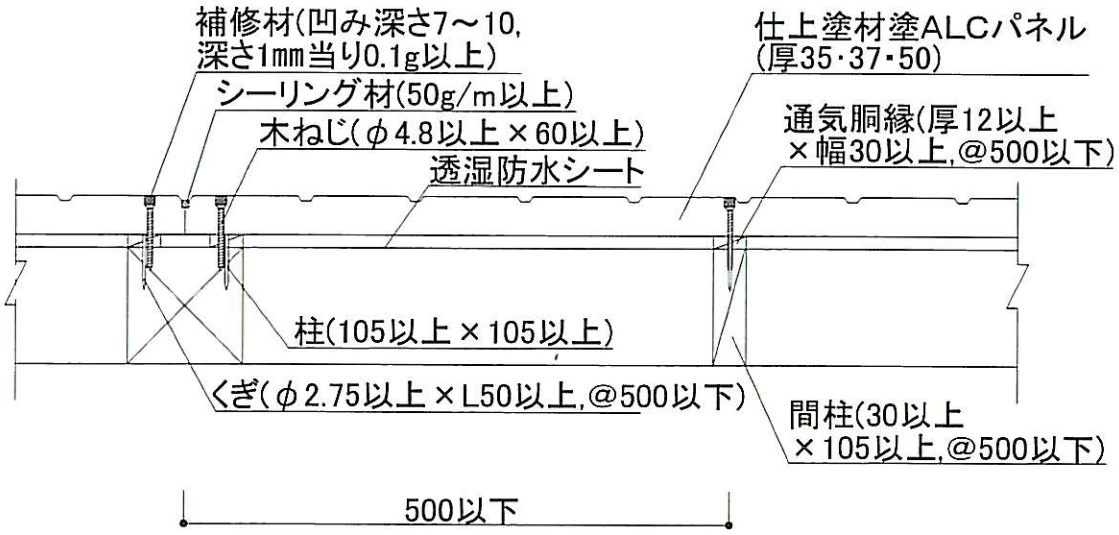
① 鉛直断面詳細図

単位(mm)



② 水平断面詳細図

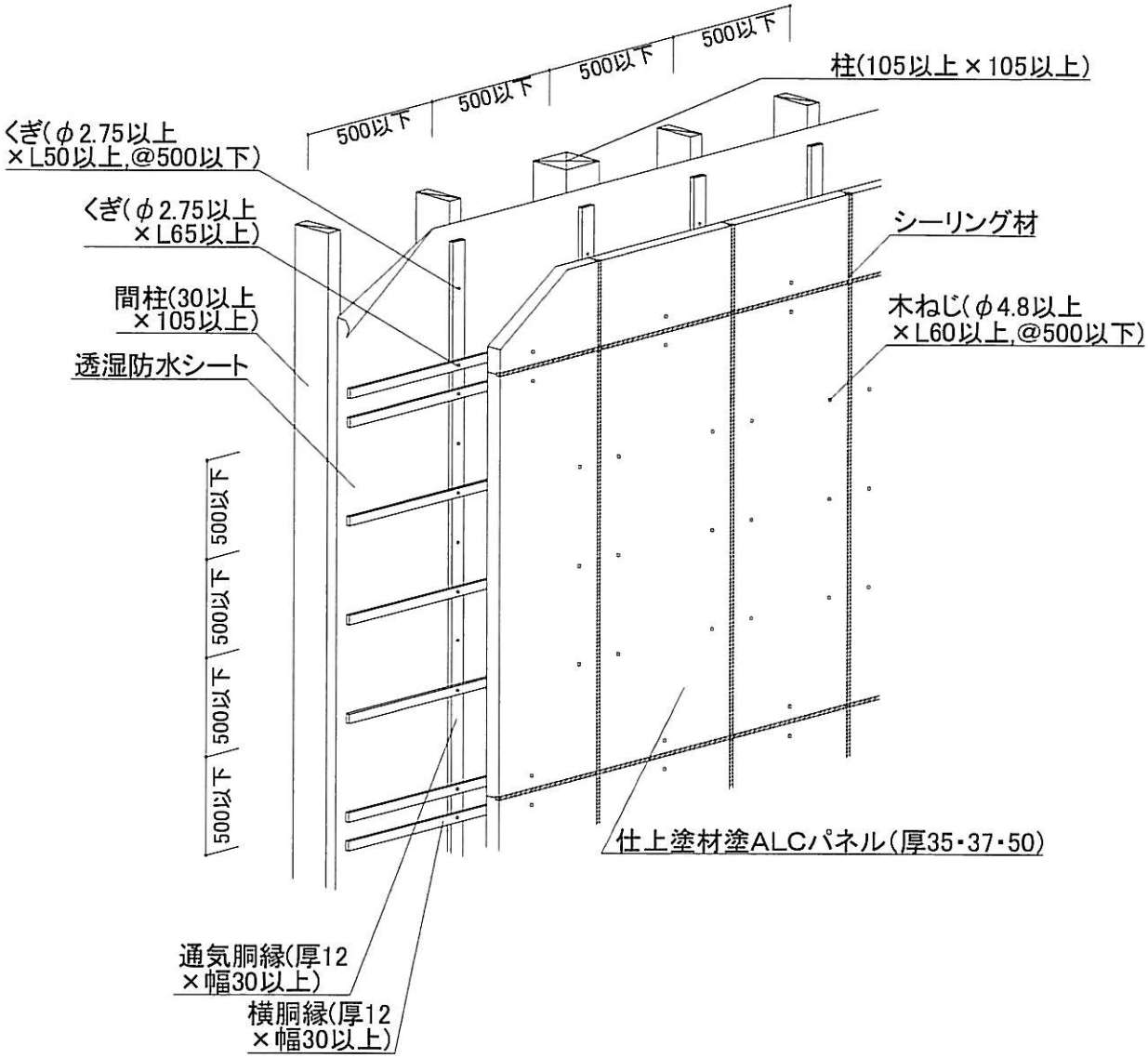
単位(mm)



(2) 縦張り仕様

(2)－1 透視図

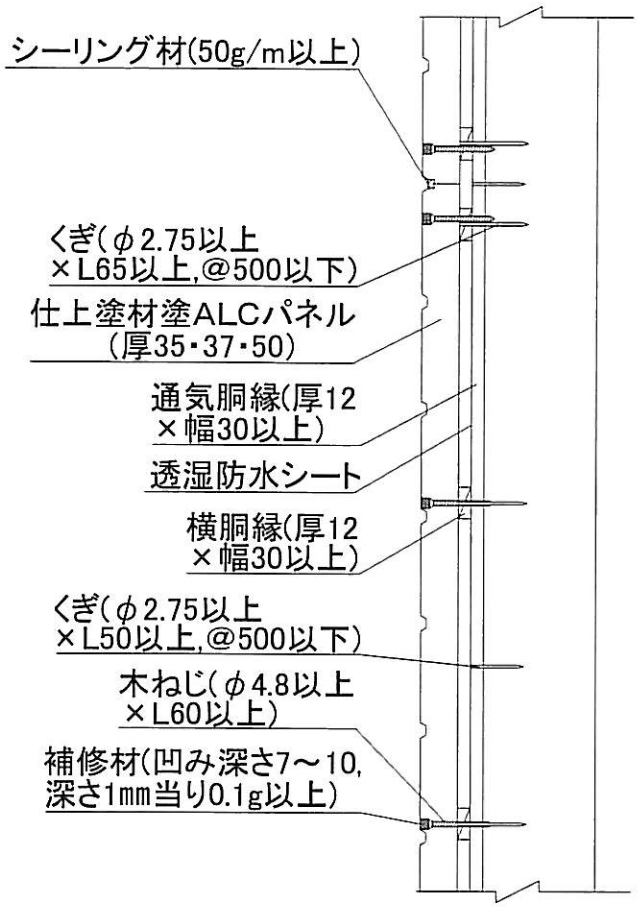
単位(mm)



(2) -2 断面詳細図

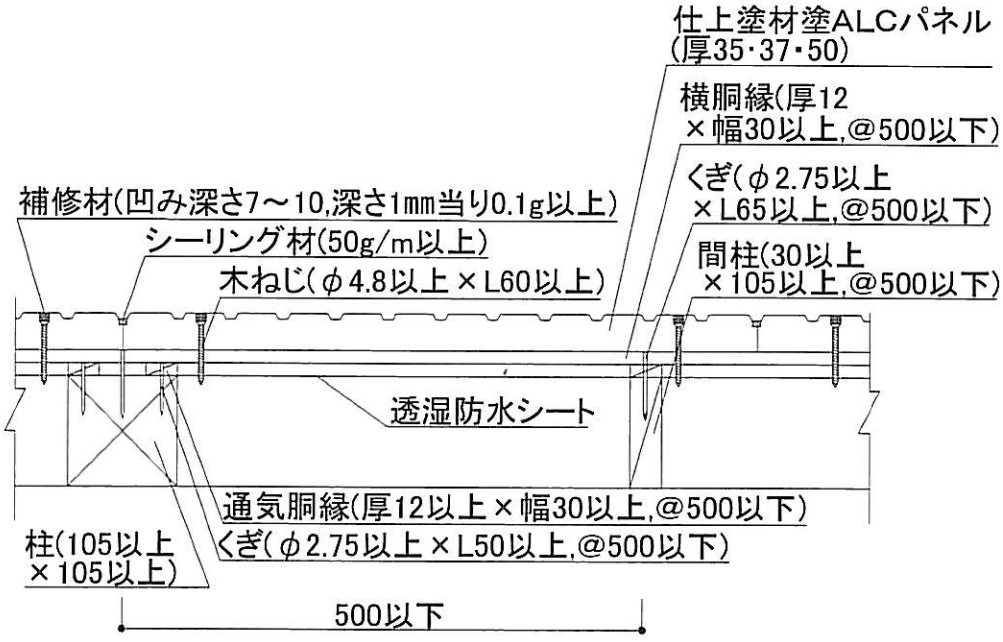
① 鉛直断面詳細図

単位(mm)



② 水平断面詳細図

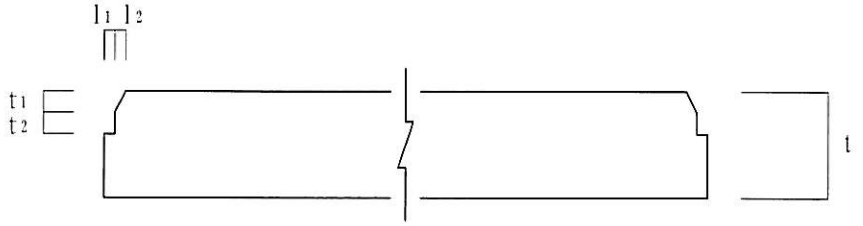
単位(mm)



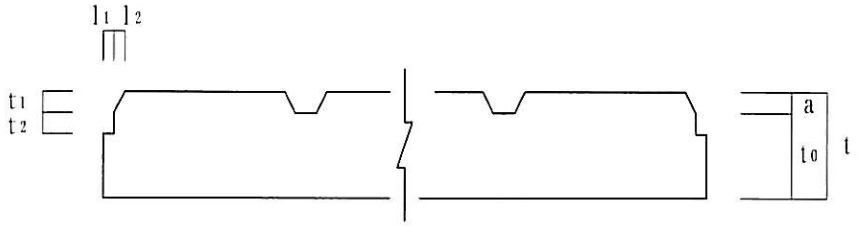
(3) ＡＬＣパネルの形状及び寸法

(3)-1 形状

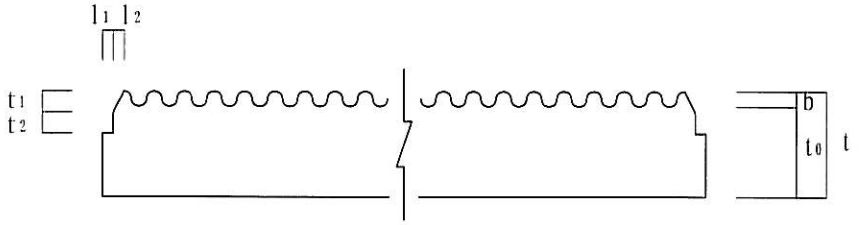
① 平滑



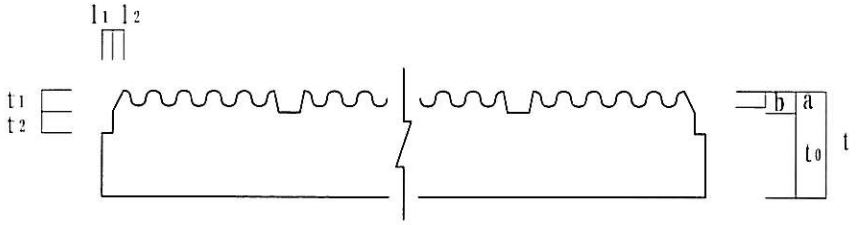
② 平滑・溝加工



③ 凹凸加工



④ 凹凸・溝加工



(3)-2 各部の寸法等

形　　状		平滑	溝加工	凹凸加工	凹凸・溝加工
厚さ：t（mm）		35・37・50±2			
端部の切欠き部の寸法※1	t_1（mm）	7±2			
	t_2（mm）	7±2			
	l_1（mm）	3.5±2			
	l_2（mm）	3.5±2			
溝部の深さ：a（mm）※1		－	7以下	－	7以下
凹凸加工の凹部深さ：b（mm）※1		－		7以下	
最小厚さ：t_0（mm）		－	30以上		
溝部または凹凸加工の凹部の容積欠損率（%）※2		－	4.73以下		

※1 被覆材裏面から37 mm以下の厚さの部分における寸法。

※2 被覆材全体積（端部切欠き部を除く）に対する被覆材裏面から35 mm以下の溝部または凹凸加工の凹部の欠損容積の割合。

5．施工方法

(1) 下地組み

土台に柱と間柱を取付ける。この時の柱と間柱との間隔及び間柱相互の間隔は 500 ㎜以下とする。

(2) 透湿防水シートの取付け

透湿防水シートを柱または間柱に幅 12 ㎜以上、長さ 10 ㎜以上のステープルで仮止めする。

(3) 通気胴縁の取付け

通気胴縁を柱または間柱の直上に 500 ㎜以下の間隔で配置する。ただし、ＡＬＣパネルを横張りとする場合のＡＬＣパネルの短辺方向の目地部には、必ず通気胴縁を 2 本配置する。通気胴縁は、柱または間柱にφ2.75 ㎜以上×L50 ㎜以上の鉄丸くぎを用いて 500 ㎜以下の間隔で留め付ける。

(4) 横胴縁の取付け

ＡＬＣパネルを縦張りとする場合は、横胴縁を前記の通気胴縁と直交する方向に 500 ㎜以下の間隔で配置する。ただし、ＡＬＣパネルの短辺方向の目地部には、必ず横胴縁を 2 本配置する。横胴縁は、通気胴縁にφ2.75 ㎜以上×L65 ㎜以上の鉄丸くぎを用いて 500 ㎜以下の間隔で留め付ける。

(5) ＡＬＣパネルの取付け

横張り仕様のＡＬＣパネルは、φ4.8 ㎜以上×L60 ㎜以上の鋼製木ねじ等を用いて通気胴縁に留め付ける。縦張り仕様のＡＬＣパネルは、上記の鋼製木ねじ等を用いて横胴縁に留め付ける。

ＡＬＣパネルの長辺方向周辺部の留め付け間隔は 500 ㎜以下とし、短辺方向周辺部は上記鋼製木ねじ等 1 本以上で留め付ける。

鋼製木ねじ等は、その頭部がＡＬＣパネル表面より 7～10 ㎜凹むようにねじ込み、この凹部には、合成樹脂エマルション系パテ等を隙間なく充填する。

(6) ＡＬＣパネルの目地処理

ＡＬＣパネル相互の目地部にはシーリング材を充填する。

(7) ＡＬＣパネルの表面仕上げ

ＡＬＣパネルの目地処理後、薄付け仕上塗材、厚付け仕上塗材または複層仕上塗材をＡＬＣパネル表面に塗り付ける。塗り工程、塗り回数、間隔時間等は JASS 23 吹付工事に準拠する。

仕上塗材の塗布量(所要量)は、合計で 1.5kg/㎡以上とし、仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合は、47％以下となるようにする。